

資 料

資料 1

児童福祉施設等に対する質問紙調査票 (2006)

I. 保育士養成の教育内容について

今日、保育士が子どもの最善の利益を守るためには、直接的な保育に加えて、保護者への支援も不可欠であり、この二つが保育士の業務として法的に位置づけられています。このようなニーズに応えるために保育士養成課程の充実が求められていますが、これについてのあなたのお考えをお聞かせ下さい。

Q1. 以下は現行の養成課程の必修科目ですが、今後、さらに充実させる必要があると思われる科目について、以下から選び、いくつでも○をつけてください。

(複数回答可)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 社会福祉 | 11. 精神保健 |
| 2. 社会福祉援助技術 | 12. 家族援助論 |
| 3. 児童福祉 | 13. 保育内容 |
| 4. 保育原理 | 14. 乳児保育 |
| 5. 養護原理 | 15. 障害児保育 |
| 6. 教育原理 | 16. 養護内容 |
| 7. 発達心理学 | 17. 基礎技能（音楽・図工・体育等） |
| 8. 教育心理学 | 18. 保育実習 |
| 9. 小児保健 | 19. 総合演習 |
| 10. 小児栄養 | |

Q2. 現行の保育士養成課程科目にはないが、今後必要と思われる科目を、以下から選び、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)

1. 倫理・保育者論（保育原理「保育士の資質と任務」の強調）
2. 情報機器の活用に関する科目
3. 施設経営・運営に関する科目
4. その他（)

Q3. 実習（現行は保育所およびその他の児童福祉施設で計30日間）をより充実するために、どのような内容が考えられますか？下記の中からいくつで選び、○をつけてください。(複数回答可)

1. 実習日数を増やす
2. 事前事後指導を充実させる
3. 通年実習の導入（実習日数30日を1年間にわたって行う）
4. 実習中に帰校日等を設けて、大学で振り返りを行う
5. 実習段階（達成課題）の明確化
6. その他（)

Q4. 養成課程の科目や内容については、個々の養成校の独自性を活かした方がよいとお考えですか？（下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 養成校の独自性をより活かす。
2. 細目にわたって内容を規定する。
3. その他（)

II. 国家試験の導入について

社会福祉士・看護師・医師等の国家資格は、養成校で定められた単位を履修した後に、国家試験を受験し、これに合格することによって資格・免許を取得することができます。一方で保育士については、養成校で定められた単位を履修して養成校卒業すると保育士資格を取得することができます。今後、保育士資格取得のために、養成校の卒業に加えて国家試験を課すことについて、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

Q5. 養成校の卒業に加えて国家試験を課すことについて、どのようにお考えですか？（下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 現行のままでよい。（国家試験をしない）
2. 必要最低限のレベルを確認する程度の国家試験を課す。
3. 難易度の高い国家試験を課す。
4. その他（

）

III. 保育士資格の性格について

現行の保育士資格は、保育所を含めた幅広い児童福祉施設全般を対象とし、子どもの保育と保護者への支援を行う資格という位置づけとなっています。このような保育士の基本的性格について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

Q6. 保育士が対象とする子どもの年齢について、どのようにお考えですか？（下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 現行のとおり、保育士資格は0歳～18歳までの児童を通して対象とする資格とする。
2. 保育士資格は、0歳～就学前までと、就学後～18歳までとを分けて、別の資格とする。
3. その他（

）

Q7. 保育士資格を現行の通り一本化した資格とするか、あるいは領域別に分けた資格とするかについては、どのようにお考えですか？（下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 現行のとおり、保育士資格はすべての児童を対象とした資格とする。
2. 保育士資格は、領域別（保育・障害・医療・虐待・家庭支援など）に分けた複数の資格とする。
3. その他（

）

IV. 保育士養成年限等について

現行の保育士資格は、二年間養成を基盤とする単一資格となっています。保育士養成年限についてのあなたのお考えをお聞かせ下さい。

Q8. 保育士養成年限について、どのようにお考えですか？（下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 現行の二年間養成課程を基盤とする単一資格でよい。
2. 幼稚園教諭免許のように二種（短期大学等）・一種（大学等）・専修（大学院等）のような資格とする。
3. すべて四年間養成課程の資格に移行する。
4. その他（)

↓
上記Q8. で2. 3. のいずれかに○をつけ、四年間養成課程の資格が必要と答えた方にお聞きします。

SQ1. 四年間養成課程の資格が必要と回答したその理由を、下記より選び、いくつでも○をつけてください。（複数回答可）

1. より高度な保育の専門性が求められているから
2. より高度な教育の専門性が求められているから
3. より高度な養護の専門性が求められているから
4. より高度な障害児保育の専門性が求められているから
5. 被虐待児等心のケアを必要とする子どもに対応できる専門性が求められているから
6. 入所児童の親に対応できる相談援助技術の専門性が求められているから
7. 地域の子育て支援に対応できる専門性が求められているから
8. 地域関連機関・施設（児相を含む）と連携できる専門性が求められているから
9. 地域のニーズとサービスをコーディネートできる専門性が求められるから
10. 幼稚園教諭と同じようにステップアップ資格とすべきであるから
11. 他の職員に対する指導的な保育士が必要だから
12. 他の職種と協働する上で必要だから
13. おとなとしての成熟が求められるから
14. その他（)

SQ2. 仮に四年間養成課程の資格を新設するとした場合、二年間養成課程の保育士資格を有して現場で働く者が、一定の現場経験の後に四年間養成課程の資格を取得することができるような仕組み（例えば一定の現場経験+研修または試験等）を設けることが必要とお考えですか。（下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 現場で四年間資格にステップアップできる仕組みが必要である
2. そのような仕組みは必要でない
3. その他（)

資料1：質問紙調査票A・B共通

SQ3. 大学院での保育士養成について、どのようにお考えですか。下記より選び、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)

1. 研究を中心とする大学院による保育士養成が必要である。
2. 専門職養成を行う大学院(専門職大学院)での保育士養成が必要である。
3. 大学院による保育士養成は必要ない。
4. その他()

V. 保育士資格と他資格との関係

今日、保育士には家庭や地域への支援が必要とされるようになっていきます。また保育所と幼稚園が一体となった認定子ども園も発足します。このような動向の中で、今後の保育士と近接領域の他資格・免許との関係について、あなたはどのようにお考えですか。

Q9. 保育士資格と二種幼稚園教諭免許との関連づけについて、今後、どのようにお考えですか？(下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 現行のとおり、別々の資格・免許のままでよい。
2. 今後は、保育士資格と二種幼稚園教諭免許を共通化(一本化)する。
3. その他()

Q10. 現在、保育士資格を有する者は、1年間の介護福祉士養成課程で介護福祉士資格を取得できます。このような保育士資格と介護福祉士資格との関連づけを今後も図るべきだとお考えですか？(下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 現行のとおり継続していく。
2. 介護福祉士資格と関連を持たなくて良い
3. その他()

Q11. 現行では、保育士資格と社会福祉士資格については、関連づけがありません。保育士と社会福祉士との関連づけを図るべきだとお考えですか？(下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 今後、社会福祉士資格と関連づけていく。
2. 社会福祉士資格と関連を持たなくて良い
3. その他()

資料1：質問紙調査票A・B共通

*ご協力ありがとうございました。

ヒアリングにご協力いただける方は、下記に、あなたのお名前・施設名・連絡先をお書きください。のちほど抽出して、お願いをする場合にはご連絡の上、ご都合をうかがわせていただきます。

施設名 (お名前)

住所 電話番号

保育士養成課程に関する調査のお願い

(保育サービスの質に関する調査研究)

平成18年度厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業

「保育サービスの質に関する調査研究」

主任研究者 東洋英和女学院大学教授 大嶋恭二

●この調査は、社会・時代のニーズに応える保育サービスの質に関する調査研究の一環として、保育士資格、指定保育士養成施設における教育のあり方（カリキュラム・養成年限）等について検証を行なう目的から実施するものです。

●調査の結果は、保育士養成課程等を検討する際の基礎資料の一つとなります。

●調査は、一定の統計的な方法により抽出された法人・施設にお願いしております。

●調査の趣旨をご理解いただき、調査票の記入にご協力をお願いいたします。

原則として、施設長（園長）がご記入下さい。

調査の時点は平成18年9月1日（金）といたします。施設の実態等については、調査の時点でお答えください。

●調査票は、同封した返信用封筒で平成18年9月25日（月）までにご返送下さい。

●調査関係者が調査で知り得た内容を他にもらしたり、目的以外に調査結果を利用したりすることは絶対にありません。

調査責任者 大嶋恭二 東洋英和女学院大学人間科学部人間福祉学科教授
社団法人 全国保育士養成協議会常務理事

本調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：社団法人全国保育士養成協議会 事業調査部 佐藤絹枝

住所 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

明治安田生命高田馬場第二ビル6階

電話 03-3590-5571 FAX 03-3590-5591

E-mail hoyo-hyk@sirius.ocn.ne.jp

資料1：質問紙調査票A

Ⅷ あなたの施設についてお答えください

F1 貴施設の運営主体について、該当する番号を○で囲んでください

1 市区町村などの公営	2 社会福祉法人などの民営
-------------	---------------

F2 貴施設の所在地をご記入ください

1 都道府県名	2 市区町村名
都道府県	

F3 児童定員数について、該当する番号を○で囲んでください

1. 30人未満 2. 31～45人 3. 46～60人 4. 61～90人 5. 91～120人 6. 121～150人 7. 151人以上

F4 貴施設が実施している事業等を○で囲んでください (平成18年9月1日現在)

1 一時保育 2 延長保育 3 休日保育 4 地域子育て支援センターの設置 4 障害児保育* 6 病後児保育 7 その他の事業 _____

*障害児を受け入れるための助成を受けているものを指します。

F5 貴施設に勤務する保育士の保育士としての保育経験年数についてお答えください
 (保育経験年数については、例えば、保育所に8年、児童館に5年勤務した保育士の場合、該当する記入欄は13年⇒「11-20年」欄となります。)

(平成18年9月1日現在)

経験年数	5年未満	5-10年	11-20年	21年以上	合計
常勤	名	名	名	名	名
非常勤 *	名	名	名	名	名

*「非常勤保育士」とは、契約期間(約1年)を定めて任用され、常勤保育士と同様の勤務をする者を指します。

資料 1 : 質問紙調査票 A

F6 貴施設に勤務する保育士の養成年限等についてお答えください

(平成 18 年 9 月 1 日現在)

養成年限	2年 (短大・専修 学校など)	3年 (短大・専修 学校など)	4年 (大学)	保育士試験	その他 (大学院な ど)	合計
常勤	名	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名	名

*ご協力ありがとうございました。

ヒアリングにご協力いただける方は、下記に、あなたのお名前・施設名・連絡先をお書きください。のちほど抽出して、お願いをする場合にはご連絡の上、ご都合をうかがわせていただきます。

施設名

(お名前)

住所

電話番号

保育士養成課程に関する調査のお願い

(保育サービスの質に関する調査研究)

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業

「保育サービスの質に関する調査研究」

主任研究者 東洋英和女学院大学教授 大嶋恭二

●この調査は、社会・時代のニーズに応える保育サービスの質に関する調査研究の一環として、保育士資格、指定保育士養成施設における教育のあり方（カリキュラム・養成年限）等について検証を行なう目的から実施するものです。

●調査の結果は、保育士養成課程等を検討する際の基礎資料の一つとなります。

●調査は、一定の統計的な方法により抽出された法人・施設にお願いしております。

●調査の趣旨をご理解いただき、調査票の記入にご協力をお願いいたします。

原則として、施設長（園長）がご記入下さい。

調査の時点は平成 18 年 9 月 1 日（金）といたします。施設の実態等については、調査の時点でお答えください。

●調査票は、同封した返信用封筒で平成 18 年 9 月 25 日（月）までにご返送下さい。

●調査関係者が調査で知り得た内容を他にももらしたり、目的以外に調査結果を利用したりすることは絶対にありません。

●なお、本調査は全国社会福祉協議会 全国保育協議会、全国乳児福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会のご協力を頂いております。

調査責任者 大嶋恭二 東洋英和女学院大学人間科学部人間福祉学科教授
社団法人 全国保育士養成協議会常務理事

本調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：社団法人全国保育士養成協議会 事業調査部 佐藤絹枝
住所 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10
明治安田生命高田馬場第二ビル6階
電話 03-3590-5571 FAX 03-3590-5591
E-mail hoyo-hyk@sirius.ocn.ne.jp

資料1：質問紙調査票B

Ⅶ あなたの施設についてお答えください

F1 貴施設の運営主体について、該当する番号を○で囲んでください

1 市区町村などの公営	2 社会福祉法人などの民営
-------------	---------------

F2 貴施設の施設種別をお答えください

1 乳児院 2 母子生活支援施設 3 児童養護施設 4 知的障害児施設 5 知的障害児通園施設 6 盲ろうあ児施設 7 肢体不自由児施設 8 肢体不自由児通園施設 9 重症心身障害児施設 10 情緒障害児短期治療施設 11 児童自立支援施設 12 知的障害者施設（入所） 13 児童相談所一時保護施設 14 児童館
--

F3 貴施設の所在地をご記入ください

1 都道府県名	2 市区町村名
都道府県	

F4 児童定員数*について、該当する番号を○で囲んでください

1. 20人以下	2. 21～30人	3. 31～45人	4. 46～60人
5. 61～90人	6. 91人以上		

*母子生活支援施設については、「世帯数」でお答えください。

F5 貴施設に勤務する子どもと直接かかわる常勤職員の保育・養護・療育経験年数についてお答えください
(平成18年9月1日現在)

(経験年数は、直接子どもとかかわった経験年数といたします。例えば、保育所に8年、児童館に5年勤務した職員の場合、該当する記入欄は13年⇒「11～20年」欄となります。)

経験年数	5年以下	6～10年	11～20年	21年以上	合計
常勤の職員	名	名	名	名	名
うち保育士資格所有者	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)
非常勤*の職員	名	名	名	名	名
うち保育士資格所有者	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)

*「非常勤」の職員とは、契約期間（約1年）を定めて任用され、常勤の職員と同様の勤務をする者を指します。

F6 上記問5の保育士資格所有者についてお答えください (平成18年9月1日現在)

養成年限	2年 (短大・専修 学校など)	3年 (短大・専修 学校など)	4年 (大学)	保育士試験	その他 (大学院な ど)	合計
上記の保育士	名	名	名	名	名	名

資料 2

指定保育士養成施設に対する質問紙調査票 (2007)

保育士養成課程に関する調査のお願い

(保育サービスの質に関する調査研究)

平成19年度厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業
「保育サービスの質に関する調査研究」
主任研究者 東洋英和女学院大学教授・大嶋恭二

●この調査は、社会・時代のニーズに応える保育サービスの質に関する調査研究の一環として、保育士資格、指定保育士養成施設における教育のあり方（カリキュラム・養成年限）等について検証を行なう目的から実施するものです。

●調査の結果は、保育士養成課程等を検討する際の基礎資料の一つとなります。また、成果は、報告書等により公表いたします。

●調査は、社団法人 全国保育士養成協議会に加盟している全ての養成校にお願いしております。調査票の配布は、一加盟校につき一部を送付しております。

●調査の趣旨をご理解いただき、調査票の記入にご協力をお願いいたします。

原則として、保育士養成課程に直接関わっておられる方（学科長・学科主任・課程責任者など）がご記入ください。

調査の時点は平成19年7月5日（木）といたします。

●調査票は、同封した返信用封筒で平成19年7月18日（水）までにご返送ください。

●調査結果は、目的以外に利用することはありません。

調査責任者 大嶋恭二 東洋英和女学院大学人間科学部人間福祉学科教授
社団法人 全国保育士養成協議会常務理事

本調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：社団法人全国保育士養成協議会 事業調査部 佐藤絹枝
住所 〒171-8536 東京都豊島区高田3-19-10
電話 03-3590-5571
FAX 03-3590-5591
E-mail hyk@hoyokyo.or.jp

I. 保育士養成の教育内容について

Q1. 以下は現行の養成課程の必修科目（専門科目）ですが、今後、さらに充実させる必要があると思われる科目について、下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。
（複数回答可）

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 社会福祉 | 11. 精神保健 |
| 2. 社会福祉援助技術 | 12. 家族援助論 |
| 3. 児童福祉 | 13. 保育内容 |
| 4. 保育原理 | 14. 乳児保育 |
| 5. 養護原理 | 15. 障害児保育 |
| 6. 教育原理 | 16. 養護内容 |
| 7. 発達心理学 | 17. 基礎技能（音楽・図工・体育等） |
| 8. 教育心理学 | 18. 保育実習 |
| 9. 小児保健 | 19. 総合演習 |
| 10. 小児栄養 | |

Q2. 現行の保育士養成課程科目にはないが、今後必要と思われる科目を、下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。（複数回答可）

1. 倫理・保育者論（保育原理「保育士の資質と任務」の強調）に関する科目
2. 情報機器の活用に関する科目
3. 施設経営・運営に関する科目
4. その他（)

Q3. 養成課程の科目や内容については、個々の養成校の独自性を活かした方がよいとお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 養成校の独自性をより活かす
2. 細目にわたって内容を規定する
3. その他（)

Q4. 保育実習（保育所およびその他の児童福祉施設で概ね計30日間）をより充実するために、どのような内容が考えられますか。下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。（複数回答可）

1. 実習日数を増やす
2. 事前事後指導を充実させる
3. 通年実習の導入（実習日数概ね30日を1年間にわたって行う）
4. 実習中に帰校日等を設けて、養成校で振り返りを行う
5. 実習段階（達成課題）の明確化
6. その他（)

Q5. 養成校と実践現場のより密接な協力関係を築くためには、どのようなことが必要であるとお考えですか。下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。(複数回答可)

1. 担当する部署を設置する
2. 担当するスタッフを配置する
3. 定期的な打ち合わせの機会を作る
4. 研究・研修等を共同で行う
5. その他 ()

SQ-1. 養成校と実践現場との協力関係を築くために、実際に行っている方法等についてご記入ください。

Q6. よりよい保育士養成のために、教育内容・方法について工夫していることがありましたらご記入ください。

II. 国家試験の導入について

Q7. 保育士資格を取得するために、養成校の卒業に加えて国家試験を課すことについてどのようにお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行のままでよい(国家試験をしない)
2. 必要最低限のレベルを確認する程度国家試験を課す
3. 難易度の高い国家試験を課す
4. その他 ()

Ⅲ. 保育士資格の性格について

Q8. 保育士が対象とする子どもの年齢について、どのようにお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行のとおり、保育士資格は0歳～18歳未満の児童を対象とする資格とする
2. 保育士資格は、0歳～就学前までと、就学後～18歳未満に分けて、別の資格とする
3. その他 ()

Q9. 保育士資格を現行の通り一本化した資格とするか、あるいは領域別に分けた資格とするかについて、どのようにお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行のとおり、保育士資格はすべての児童を対象とした資格とする
2. 保育士資格は、領域別（保育・障害・医療・虐待・家庭支援など）に分けた複数の資格とする
3. その他 ()

Ⅳ. 保育士養成年限等について

Q10. 保育士養成年限について、どのようにお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行の二年間養成課程を基盤とする単一資格でよい
2. 幼稚園教諭免許のように二種（短期大学等）・一種（大学等）・専修（大学院等）のような資格とする
3. すべて四年間養成課程の資格に移行する
4. その他 ()

上記Q10. で「2」「3」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

SQ-1. 四年間の養成課程の資格が必要と回答したその理由を、下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。（複数回答可）

1. より高度な保育の専門性が求められているから
2. より高度な教育の専門性が求められているから
3. より高度な養護の専門性が求められているから
4. より高度な障害児保育の専門性が求められているから
5. 被虐待児等心のケアを必要とする子どもに対応できる専門性が求められているから
6. 入所児童の保護者に対応できる相談援助技術の専門性が求められているから
7. 地域の子育て支援に対応できる専門性が求められているから
8. 地域関連機関・施設（児相を含む）と連携できる専門性が求められているから
9. 地域のニーズとサービスをコーディネートできる専門性が求められているから
10. 幼稚園教諭と同じようにステップアップ資格とすべきであるから
11. 他の職員に対する指導的な保育士が必要だから
12. 他の職種と協働する上で必要だから
13. 人としての成熟が求められているから
14. その他 ()

SQ-2. 仮に四年間の養成課程の資格を新設するとした場合、二年間の養成課程の保育士資格を有して現場で働く者が、一定の現場経験の後に四年間の養成課程の資格を取得することができるような仕組み（例えば、一定の現場経験+研修または試験等）を設けることが必要とお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現場で四年間資格にステップアップできる仕組みが必要である
2. そのような仕組みは必要ない
3. その他（)

SQ-3. 大学院での保育士養成について、どのようにお考えですか。下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。（複数回答可）

1. 研究を中心とする大学院による保育士養成が必要である
2. 専門職養成を行う大学院（専門職大学院）での保育士養成が必要である
3. 大学院による保育士養成は必要ない
4. その他（)

Q11. 三年間の養成について、どのようにお考えですか。あなたのご意見を自由にご記入ください。

V. 保育士資格と他資格との関係

Q12. 今後の保育士資格と幼稚園教諭二種免許との関連について、どのようにお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行のとおり、別々の資格・免許のままでよい
2. 今後は、保育士資格と幼稚園教諭二種免許を共通化（一本化）する
3. その他（)

Q13. 現在、保育士資格を有する者は、1年間の介護福祉士養成課程で介護福祉士資格を取得できます。このような保育士資格と介護福祉士資格との関連づけを今後も図るべきだとお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行のとおり継続していく
2. 介護福祉士資格と関連を持たなくてよい
3. その他（)

Q14. 現行では、保育士資格と社会福祉士資格については、関連がありません。保育士と社会福祉士との関連づけを図るべきだとお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 今後、社会福祉士資格と関連づけていく
2. 社会福祉士資格と関連を持たなくてよい
3. その他 ()

VI. 保育士試験による資格取得について

Q15. 現行の保育士資格取得のための試験について、どのようにお考えですか。下記の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 現行のとおり、資格取得試験だけで保育士資格を取得することができるようにする
2. 今後、資格取得試験については、新たに条件をつけて行う
3. 保育士試験による資格取得は廃止する
4. その他 ()

SQ-1. 上記で「2」に○をつけた方にお聞きします。条件の内容について、下記の中からいくつでも選び、○をつけてください。(複数回答可)

1. 実務経験を課す
2. スクーリングを課す
3. 実習を課す
4. その他 ()

VII. その他

Q16. 保育士養成課程について、望まれる素養・資質も含めて、あなたの意見を自由にご記入ください。